

中期経営計画「未来共創プラン ステージⅢ」

2023年度から2026年度の4年間を計画期間とする本計画は「長期経営計画の最終ステージ」であり「ちゅうぎんフィナンシャルグループの第一次中期経営計画」です。以下の「3つの成長戦略」により、ステージⅠ・Ⅱの改革をベースに成果を発揮し、長期経営計画のKPIの達成を目指すとともに、次の10年に向けた、新たな挑戦をおこなってまいります。

成長戦略1 地方創生SDGsの「深化」

地域の魅力・ポテンシャルを引き出し「**地域の持続的な発展**」に貢献します

地方創生	▶DX・SXを起点とした地域を面で捉えた取組み、創業支援、SDGs活動を強化
地域応援活動	▶川上から川下までの一貫したソリューションを提供 ▶サステナブルファイナンスを強化
ライフプランサポート活動	▶お客さまのライフプランの実現を支援 ▶安定した資産形成・安心する資産承継の支援を強化

対応するマテリアリティ

- 地域経済・社会の活性化
- 少子高齢化社会への対応
- 環境経営の促進
- DXの推進

ちゅうぎんグループは、事業活動を通じ、地域社会・お客さまと相互に発展する未来を共創することを目指しています。「地域課題の解決による魅力ある地域社会の共創」「サステナブルで活気ある事業環境の共創」「生活不安なき豊かな暮らしの共創」に取組むことで、地域の魅力やポテンシャルを引き出し、地域の持続的な発展に貢献します。また、グループ役職員のSDGs活動の底上げに取組み、SDGsの浸透を進めていきます。

成長戦略2 イノベーションの創出

次なる成長に向けた「**新たな価値**」を創造します

DX	▶業務プロセス改革・次世代チャネル・デジタル人材育成を推進
新規事業	▶協業によってグループ独自の新規事業を創出
アライアンス	▶広域連携・地域連携・異業種連携を積極的に展開

対応するマテリアリティ

- DXの推進
- 多様な人材の活躍推進

本計画では、「地方創生SDGsの『深化』」を着実に進めつつ、不確実性が増す環境変化に打ち克ち、地域社会の課題解決や多様化するお客さまのニーズへ応え続けていくため、イノベーションの創出を目指します。「チャレンジし続ける組織風土」の醸成「多様な人材の価値観・感性」を活かせる組織づくりをイノベーションの原動力としながら「デジタル技術やアライアンス」を積極的に活用し、新たな価値を共創します。

成長戦略3 グループ経営基盤の強化

成長戦略を実行するための「**強固な土台**」を築きます

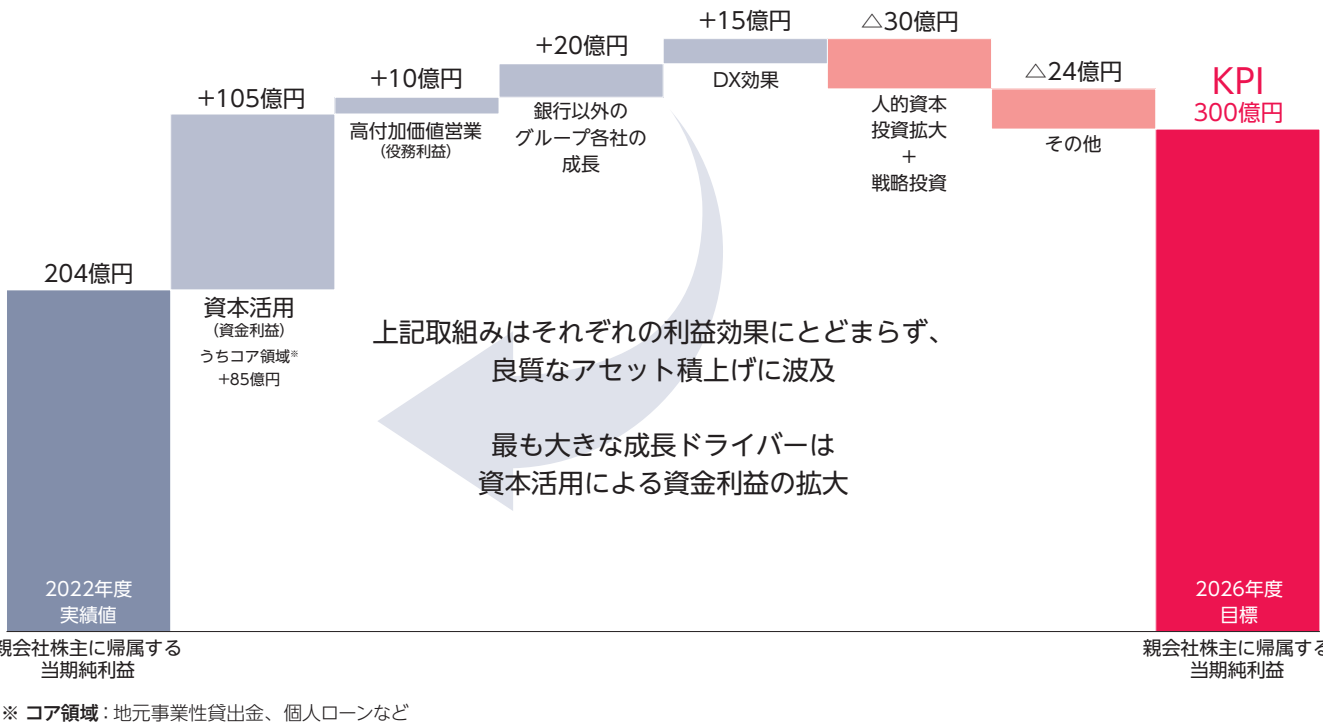
ポートフォリオ	▶事業ポートフォリオの最適化と経営資源の戦略的な配分を実践
財務資本	▶健全性・収益性・株主還元の観点で適切な財務運営を実行
人的資本	▶事業戦略に沿って「人的資本投資」を大幅に拡大
ダイバーシティ	▶多様な人材の採用・活躍推進を強化
ガバナンス	▶グループ全体での内部統制システムを高度化

対応するマテリアリティ

- 多様な人材の活躍推進
- ガバナンスの高度化
- DXの推進

地方創生SDGsの「深化」やイノベーションの創出を実現するためには、強固なグループ経営基盤を確立する必要があります。本計画では、変化し続ける経営環境に柔軟に対応するため、経営資源の適正配分・グループガバナンスの進化・人的資本の価値向上などにより、グループ経営基盤を強化します。

利益成長イメージ



地域社会やお客さまの課題に対して、グループ全体で、上流から面で取組むことによって良質なアセットを積上げていく計画です。

グループ各社の成長 + 20 億円

銀行との連携を強みとして、お客さまへの複合提案を強化
さまざまな知見を活かし、金融の範疇を超えて地域課題の解決をリード

高付加価値営業 + 10 億円

お客さまの課題に対する質の高いコンサルティング（法人）川上から川下まで一貫したソリューション（個人）お客さまのライフイベントやニーズに応じた最適なアプローチと提携

DX効果 + 15 億円

業務プロセスや次世代チャネルの変革を通じて、トップラインの拡大やリソースの捻出を実現

資本活用 + 105 億円

- アセット全体戦略（貸出金を中心にアセット残高+1兆円）
- コア分野： サステナブルファイナンスや地方創生、シェア拡大を通じた地元貸出金の増加
 - 戦略運用分野： 再生エネルギー、地域へのエクイティ、海外支店の活用、リースを含めた新事業などの戦略分野の強化
 - 市場性運用分野： 貸出金・有価証券の一体運用による高いリスク／リターン（RORA等）の追求

3 グループ経営基盤の強化

2 イノベーションの創出

1 地方創生SDGsの「深化」